

第1回令和4年8月3日の大雨に係る青森県災害対策本部会議 議事録

日時：令和4年8月3日（水）11：15～11：30

場所：第三応接室

○築田危機管理局次長

ただいまから、第1回令和4年8月3日の大雨に係る青森県災害対策本部会議を開催します。本日の手話通訳者は、小山内敬子さんと、障害福祉課 山上美紀さんです。

はじめに、これまでの気象状況と今後の見通しについて、青森地方気象台 安ヶ平次長から説明していただきます。よろしくお願いいたします。

○安ヶ平青森地方気象台次長

青森地方気象台次長の安ヶ平と申します。よろしくお願いいたします。

雨の状況について説明させていただきます。津軽では前線や低気圧の影響により、大気の状態が非常に不安定となっており、線状降水帯による非常に激しい雨が同じ場所で降り続いた時間帯がありました。

右下の図は、今朝7時50分の線状降水帯が確認された図です。この雨のピークは、本日3日昼過ぎにかけてと現在発表しています。ただし、既にこの雨の範囲は、ゆっくりと青森県を南下していく段階に入っており、雨のピークは昼前までであり、間もなく青森県内では弱まっていくものと考えています。青森県では、引き続き3日昼過ぎにかけて土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水や氾濫に厳重な警戒をお願いいたします。ただし、この警戒の時間帯も、これまでに降った大雨の影響が長引くとみられますので、夕方まで延長する方向で現在検討をしています。

左下の図は、気象状況を説明する図ですが、太平洋高気圧を回って、一昨日まで台風第6号だった暖かく湿った空気が前線に流れ込んで、活動を活発化させているという状況になっています。

続いて、青森県内の各災害に関するキキクル（危険度分布）となっています。

上の左側から、土砂災害の危険度、真ん中が浸水害の危険度、右側は洪水害の危険度となっています。こちらについては、気象庁ホームページで公表されている新しい危険度などを御確認いただきたいのですが、紫色になっているところが危険とされる警戒レベル4に相当するエリアとなっています。

また、今後の降水の予想ですけれども、昼前までは激しい雨や非常に激しい雨等が予想されますが、昼過ぎには段々と前線が南下をしていくという予想になっていますので、雨のピークは越えつつあると考えています。しかし、岩手県側で降った雨は、馬淵川水系に流れてきますので、まだ警戒が必要と考えています。雨は午後には次第に弱まりますが、これまで降った雨により地盤が緩んでいるところや増水をしている河川がありますので、引き続き、土砂災害や河川の増水、氾濫に厳重に警戒をお願いいたします。

続いて今後の見通しですが、非常に激しい雨は昼前までと見ていますので、まもなく雨は弱まっていくものと考えています。午後は、次第に雨が弱まっていきますが、資料3枚目の赤で示した大雨による浸水害、土砂災害、洪水に対する警戒の時間帯は、これまでに降った雨の量が多かったことから、夕方まで延長する見込みです。

今後予想される雨量は、1時間の最大は昼前までは50ミリ、昼過ぎは、三八上北を中心に40ミリ程度の激しい雨になると考えています。また、明日朝6時までの24時間降水量を100ミリと予想していましたが、こちら明日12時までの24時間と時間の見直しを行いまして、三八上北を中心に80ミリ程度であろうと考えています。

気象台からの説明は、以上です。

○築田危機管理局次長

ありがとうございました。

それでは次に、本日9時現在における被害状況等について、統括調整部から説明があります。

○橋本統括調整部長

それでは、「令和4年8月3日の大雨に係る被害等の状況について（第1報）」の資料を御覧ください。

これは、本日9時現在で取りまとめたものです。明るくなってから被害状況の調査を開始していますので、調査中の項目も多くなっています。

まず被害の状況ですが、人的被害はこの9時時点でも調査中ですが、具体的な被害は把握されていない状況です。建物被害については、記載されている数の床下浸水が報告されています。

孤立集落の状況ですが、後ほど県土整備部から、道路規制の状況説明があると思います。冠水や土砂崩れ等により通行規制がされており、むつ市、平川市、今別町、外ヶ浜

町、中泊町の一部地域において、孤立、あるいは孤立のおそれがある状況という報告があります。現在、道路の状況等を含め調査が進められていますので、この状況は変化する可能性があります。

それから交通の状況ですが、鉄道では、雨により五能線で県内の線区が全線運休となっているほか、一部運休になっている路線があります。

航路空路等についても、資料記載の状況となっているところです。

次のページですが、農林水産部関係については調査中です。今後、状況が判明すれば、報告資料に記載されることとなります。

県土整備部関係については、後ほど県土整備部から説明があります。

停電の発生状況も記載のとおりです。

今回は、警報等の発表が県内の広い地域に行われました。それにより3ページ目にあるように、時間を追うごとに各地域において避難指示等が発令されている状況です。

現在、住民の方々の避難の状況については、調査を行っているところです。

県においては、午前6時30分に災害対策本部を設置しておりますが、各市町村においても、記載のとおり、警戒本部あるいは対策本部等が設置されています。

この資料については以上です。

○築田危機管理局次長

つぎに、県土整備部から説明があります。

○永澤県土整備次長

それでは、被害状況資料の(6)県土整備部関係の通行規制について御説明します。

お手元に配付した地図と対比しながら見ていただければと思います。

午前9時の段階で20ヶ所の通行止めをしております。それがこの一覧表になっています。このうち主なものとしましては、地図の青の16番、国道102号の奥入瀬溪流約14キロが倒木と冠水で通行止めになっています。さらに青の7番の法量地区が冠水により6.2キロにわたって通行止めになっています。

続きまして、青の11番の国道338号むつ市宿野部が0.7キロにわたり冠水で通行止めとなっています。

次に、赤の1番と青の1番です。国道339号の三厩から竜飛崎の間に梨ノ木間1号トンネルがありますが、竜飛側で大規模な土砂崩落があったという報告を受けており、その先に行けない状況となっています。この区間も約4キロの通行止めとなっています。

次に青の3番、八戸百石線の八戸市市川町内です。ここでは約500メートルにわたり冠水で通行止めになっています。

青の8番、三沢十和田線の六戸町犬落瀬の1キロが冠水で通行止めになっています。

この他、事前に通行止めをかけた箇所としまして、赤の7番、西目屋二ツ井線の14.8キロ、赤の5番、岩崎深浦線の5.8キロ、赤の6番、岩崎西目屋弘前線の5.6キロを通行止めとしています。

以上が道路の状況になります。

参考までに河川についてですが、蟹田川の南沢という観測地点と、奥入瀬川の中楯と焼山の観測地点において氾濫危険水位を超えています。しかし、現段階では、ピーク時と比べれば水位は若干下がっている状況ということです。

県土整備部からは、以上です。

○築田危機管理局次長

各部局から説明事項がございましたら発言をお願いします。よろしいでしょうか。それでは、本部長から指示事項があります。

○三村本部長

大雨に係る当面の対応についてお話をさせていただきます。

前線や低気圧の影響により、本県では深夜以降、大雨が降り、各地で土砂災害警戒情報、記録的短時間大雨情報等が発表され、土砂崩れや冠水等の被害が多数発生しています。これにより、現在、むつ市、平川市、今別町、外ヶ浜町、中泊町のそれぞれの一部で孤立地域が発生、あるいはそのおそれがあるところです。

そのため、6時30分に災害対策本部と全ての県民局に地方支部を設置し、住民の命を守るため、関係機関との連携により、情報収集と被害状況の把握を早急に進めているところです。

人命最優先で対応に当たる必要があることから、関係部局及び地方支部にあっては、人的被害や行方不明者の有無、孤立地域の要救助者数等の把握に全力を挙げるとともに、孤立地区の支援に万全を期してください。また、孤立地区の解消に向けて、道路の被害

や河川の氾濫、土砂崩れの状況等を早急に把握し、復旧に向けた体制の構築を速やかに行ってください。

さらに、迅速かつ正確な情報収集と分析を行い、被災市町村のニーズの把握に努めてください。

引き続き、市町村及び関係機関とも連携しながら、全庁一丸となって災害対応に臨むよう指示します。

今回の災害により被災された地域の皆様方に対して、心よりお見舞いを申し上げます。

今後、気象状況は回復していく見込みであると先ほど説明がありましたが、被災地域にお住いの皆様方におかれましては、引き続き市町村の発令する避難情報に基づき、まず自分の命を守る行動を取るよう心掛けてください。

特に、孤立地区をはじめ避難を余儀なくされている皆様方におかれましては、不安な状況の中で過ごされていると思いますが、現在、県及び関係機関が全力を挙げて取り組んでおりますので、いましばらくの辛抱をお願いいたします。

○築田危機管理局次長

以上をもちまして、災害対策本部会議を終了します。